

# とやま 夢 走動

## ～リレーでつなぐ地域の絆～

富山市青年元気塾 8 期生 富山最高！！グループ  
高瀬、石黒、石坂、利波、廣岡、廣世、松井

### 1 はじめに

私達には、「富山を盛り上げる！」という夢があります。富山をもっと盛り上げるためには、まず富山に住む人の意識を変えることから始まるのではないのでしょうか。もし、「富山なんてつまらない」という思いが「富山最高！！」に変わったら・・・？そしてその思いが、地域の枠を超えてどんどん増えていったら・・・？そこは決してつまらない場所ではなくなっているはずです。私たちは、富山の人が自分のまちを好きになり、「富山最高！！」と自信を持っていえるような企画を提案します。

### 2 富山県民のふるさとに対する意識

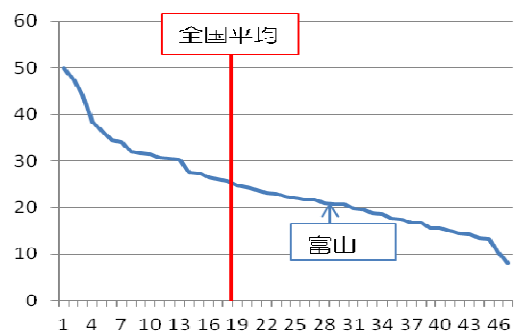
ここに、都道府県幸福度ランキングというものがあります。これは、様々な社会経済統計の中から、地域住民の幸福度を端的に表している 40 の指標をもとにランキングにしたものです。これによると、富山県は幸福度ランキング全国第 2 位なのです。富山は、豊かな自然に恵まれ、食べ物も美味しく、県民の所得水準や教育水準も高く、行政サービスも行き届いている素晴らしいところです。このように、大変高い評価をいただいている富山ですが、その一方で、ふるさと自慢ランキングというデータがあります。

これは、各都道府県の出身者に対して、ふるさとについて愛着があるかどうか、誇りに思うかどうかの意識について質問したものです。これによると、富山県は全国 26 位なのです。グラフ（右図）を見ると、数値的にも全国平均を大きく下回っていることがわかります。

この2つのランキングから、いくら幸福度が高くても、そこに住んでいる県民が、自信を持って富山を自慢した

いという心がなければ、富山を盛り上げることは難しいのではないかと考えました。

#### ふるさと自慢

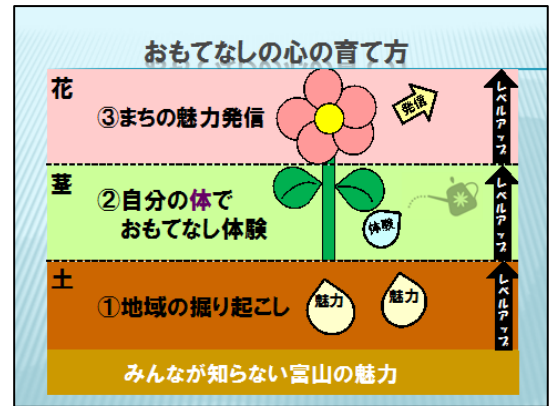


### 3 今、富山に必要なもの—「おもてなしの心」—

富山を盛り上げるために、今一番必要なもの。それは県民一人一人の「おもてなしの心」だと考えました。「おもてなしの心」とは、ふるさとに対して、愛着や誇りをもち、自信をもって「この富山を紹介したい」という思いです。しかし、「おもてなしの心」は、すぐには生まれません。そこで、私たちは、「おもてなしの心」を、育てることから始めようと考えました。では、どうやっておもてなしの心を育てるのでしょうか？花をモデルに過程を説明します。

「おもてなしの心」という、美しい花を咲かせるためには、まず、土壌づくりが必要です。この土壌づくりに当たるのが、まちの魅力の掘り起こしです。実際に自分の足で見たり聞いたりすることによって、地元の良さを再確認します。そこで見つけた魅力が栄養となって蓄えられるのです。種に芽がでると、「人に紹介したい。もてなしたい。」という思いが生まれます。

そして、実際におもてなしをします。現地でしか味わえない感動や人との触れ合いによって生まれた笑顔が、水や光となり、茎をグングン伸ばしていきます。最後に、花となったとき、もっとたくさんの人に「まちの魅力を伝えたい」という思いが高まります。その思いは、必ず、「おもてなしの心」という名の花となり、富山県中に広がっていきます。



#### 4 富山県民は、スポーツが大好き！？－「スポーツの力」－

さて、この「おもてなしの心」の花を多く咲かせるために、多くの県民を巻き込むにはどうしたらいいでしょうか？そこで私達が注目したのはスポーツの力です。スポーツをする側にとっては、例えば、仲間との絆を深める、自分が楽しむ、リフレッシュできるといった力があります。また、見る側にとっても、みんなで応援することで一体感を生み出す力があります。さらに、

図1【2010.10 スポレクとやま】

	参加者数	
	(延べ人数)	うち県内
富山大会	213,300人	201,300人
宮崎大会	126,000人	118,000人

実は、富山県民はスポーツが大好きであるというデータが出ているのです。図1は、2010年に開催されたスポレクとやまの参加者に関するデータです。スポレクとやまとは、大会の勝敗だけでなく、誰もが気軽に楽しめることを目的に開催されている生涯スポーツの祭典です。このスポレクとやまには、20万1千300人も県民が参加しました。これは、前回の宮崎大会と比べると2倍近くの参加者です。また、現在全国でマラソンブームが到来しています。県内で開催されている「あいの風リレーマラソン」を例に参加者数(図2)をみると、第1回の2千人と昨年開催された第12回の7千98人と比較すると、3倍以上にもなっています。

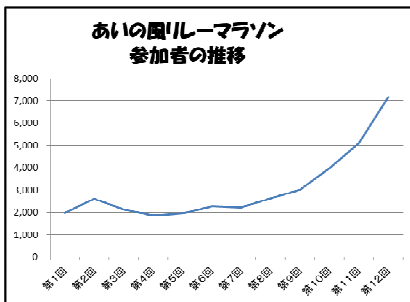
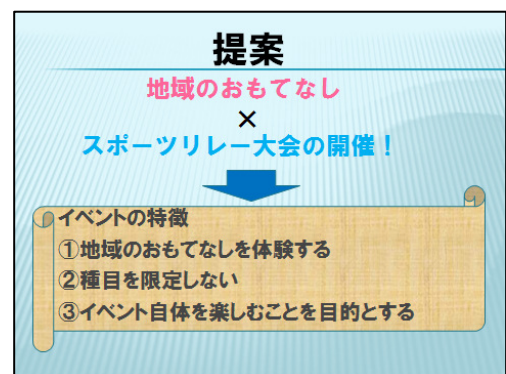


図2【あいの風リレーマラソン】

#### 5 地域のおもてなしとスポーツを掛け合わせたイベント

「おもてなしの心」を一人でも多くの富山県民に育てるため、私達が提案するのは、「地域のおもてなし」と「スポーツリレー大会」を掛け合わせたイベントです。イベントには、3つの特徴があります。まず一つ目は、ルートの途中にチェックポイントを設け、リレーをしながらそれぞれの地域のお



もてなしを体験できるということです。二つ目は、老若男女、誰もが参加できるように、種目を限定せずマラソンだけでなく様々な競技を組み合わせたことです。三つ目は、このイベントは速さを競うことが目的ではなく、あくまでもその地域のおもてなし体験やリレーを通して、イベント自体を楽しむことが目的ということです。

このように、各地域のおもてなしを、リレーで次の地域へと繋げていくことで、人と人だけでなく地域と地域が繋がることができ、「おもてなしの心」は、より一層育っていくはずです。

## 6 とやま夢走動

このようなイベントに私たちは、「とやま夢走動～リレーでつなぐ地域の絆～」という名を付けました。この名前は、「夢」と、富山が発祥である「米騒動」を掛け合わせて作ったものです。「夢」は、文字通り、私達の夢である「富山を盛り上げたい」という思いです。「米騒動」は、県民一人一人の「おもてなしの心」を「米騒動」のときのように爆発的に広げたいという思いを込めました。また、実際に自分の足で各地域へ行き、様々なおもてなしを体験するというイベントの特徴に合わせて、「騒動」の代わりに「走る」「動く」という漢字を当て、「走動」としました。

大会の概要として大きく3つのポイントを紹介します。1つ目は、年4回（春・夏・秋・冬）季節ごとに開催します。2つ目は、イベントの参加者は、毎回スタンプがもらえ、各地域の商品券や宿泊券と交換することができます。3つ目は、計画・運営などは、リレーのコースになっている地域の実行委員が中心となって行い、各地域の特色を生かしたイベントにします。

## 7 イベントの内容(富山市を例に)

富山県の中心であり、県内の三分の一を占めている富山市を例にイベントの内容について紹介します。**一日目 環水公園～県総合運動公園～天湖森**

コースは、環水公園をスタートに富山市を1泊2日で一周します。参加者の服装は自由で、コスプレ（将来になりたい、または、なりたかった職業の制服など）もO.Kです。次のチェックポイントの総合運動公園までは、ゴール時間だけを設定し、交通手段などは各自で選択します。途中には給〇ポイントを設置し、様々な無料サービスやおもてなしを受けることができます。また、参加者同士でFacebookやTwitterなどを積極的に活用し、お互いに情報交換してもらいます。

総合運動公園に着いたら、富山のプロスポーツチームの選手に様々な競技で触れ合うことができます。例えば、カターレの選手とPK対決や、グラウ



ジーズの選手とフリースロー対決、サンダーバーズの選手と一球一打対決をすることができます。

天湖森についたら、富山の食材でのバーベキューが待っています。夜には、キャンプファイヤーも行き、参加者同士が自分の見つけた富山の魅力をシェアします。

## 二日目 天湖森～八尾～ガラス工房・ファミリーパーク～環水公園

二日目は、天湖森から高山線に乗って八尾へ向かいます。街全体がおわらのステージとなる八尾では、歴史ある街を散策したり、おわらの踊りを体験したりします。

八尾を出たら、次はファミリーパークとガラス工房です。ファミリーパークでは、動物と触れ合いながら園内を自由に散策することができます。また、ガラス工房では、ガラス作り体験を通して実際に記念品を作ることができます。

最後は、環水公園でゴールです。ゴールでは、吹奏楽の生演奏でお出迎えです。自分たちが撮ってきた写真を絵葉書にしてプレゼントしたり、参加者すべての夢を描いた横断幕を作成したりします。

このように、1泊2日で富山市内全域を回りながらおもてなしを受け、それを仲間と共有していく喜びを、参加した人全員に味わってもらいたいと考えています。

## 8 おわりに

私達が提案するこのイベント「とやま夢走動～リレーでつなぐ地域の絆～」は、地域のおもてなしとスポーツリレーを掛け合わせたイベントであり、このイベントを通して富山の人のおもてなしの心を育てていきたいと考えています。

そこで私達は、この「おもてなしの心」の花が咲くことを、ある言葉で表現しました。

それは「富山最高！！」という言葉です。恥ずかしがらず、声を大にして自分の住んでいるまちを「最高」と言えるようになること。それが、おもてなしの心が育った状態であり、花が咲いた状態であると考えます。

地域のおもてなしを「リレー」でつないで行くことによって、おもてなしの心が育つだけでなく地域と地域のつながりも生まれます。地域の絆が深まることによって、さらにおもてなしの心は米騒動のように拡がっていき、そうなった時、富山という地は今よりもっと魅力的で、活気のあるまちになっているはずです。

「富山を盛り上げる！」という私達の夢を叶えるためには、おもてなしの心の花を咲かせ、多くの「富山最高！！」という声を生み出すことが必要なのです。

ぜひ、この「富山最高！！」という言葉で、心の花を咲かせていきましょう！！

